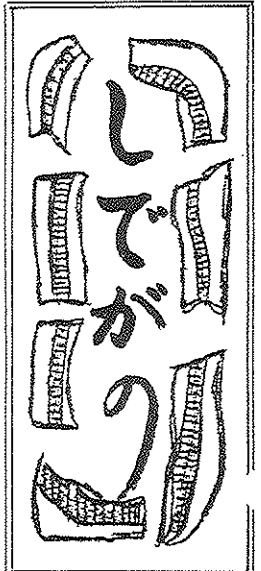
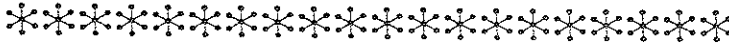


# 両親から見た 子供の素顔



しでがの通信  
第60号  
羽津小 P・T・A  
編集発行  
発行所 羽津小学校



講師 富岡幸作氏

講演を聞くことは、元来、私にとって生理的に好きではない。何故ならば、その多くは抽象的教訓論であったり、独善的論理で判断基準を強制されるようで知識として参考にはなるが心の栄養となることが少ない。だからこの度の両親

## 講演を聞いて

伊藤 完 一

恒例になりました両親学級が、十一月十三日、日曜日にもかかわらず、沢山の御参観を頂きました。前日までに子供とのかたい約束をしたお父さま方は、スリッパ片手に、我子の顔を探し、子供達も安心……。先生の話しに耳を傾けていました。  
九時からの参観に引き続き、十時から、二時間近くにわたって、富岡幸作先生の「これからの教育と両親の心構え」の講演会が講堂にて行なわれました。黒板を使つてのユーモラスな話に、時々笑い声も聞かれ、熱心に時間の超過も忘れ、聞き入っていました。

親学級講演会は、私にとって久しぶりに聞いたことになりました。富岡幸作先生は、その演題の堅さに反してユーモラスな話法で具体例を述べ、その裏に流れる問題点を理解させる論法は、さすが教育界の永い経験者ならではの、と感心し時間の経過を、しばし忘れて聞き入っております。  
先生のお話の要点は、次のようなものであったと理解しています。その前提は「教育とは何か」という原点にたつて学校も家庭も共に考え直してみようということ。戦後の復興期から経済的高度成長期の中でいわれた「欧米に追いつけ、追いこせ」の合言葉は教育の場にも浸透し、その結果「知識のつめ込み」が教育の目的の如く錯覚し「人間の育成」を忘れてしまった。その結果、今日、「人間の性の喪失」としか考えられない事件が多発し悩める社会を浮彫りにして来た。こゝに教育の反省が求められるようになった。学校にあっては子供達に過重にならないカリキュラムとし、のびのびとした学校生活の中で人間性豊かな子に教育する方向に進んでいる。その中において子供達の持つ可能性を引き出してやるための刺激を与え、それを育てるための条件を整備してやる。このことは家庭においても亦然りである。子供は、その強い感受性で周囲からいろいろ学ぼうとする。従つてその生活の

## 目次

両親から見た子供の素顔	1
両親学級の雑談の中から	3
余暇を生かして	3
文化部活動	5
声の学	7
緑の学	8
クラブだより	11
担任委員会だより	12



多くを過ごす家庭は、子供にとって人生学校であり、その教科書は父親であり母親である。従って日常の生活に於ける親の言動が問題となる。これには「ものの感じ方や考え方」の基準となる価値観を、どの面から観るかによる。即ち親のこれら価値観は、その言動として具現しこれが子供の人格形成に大きな影響を与える。正しい価値観は正しい人間性を育み、やがて正しい価値観を持つ国民性が生れる。羨も亦正しい価値観の上に立ってなされるべきである。この親の価値観は、あるときは日頃の会話の中で、あるときは振舞の中で子供達へ伝承されていくのである。このことこそ見直されるべき教育の原点である。

「両親学級に思う」

藤井 泰

以前より長男に言われていた両親学級の日が来た。一年に一度の学校の行事であるし、行けない事にもなれば、長男に申し訳ないから、十三日は特別の用がおきないようにと祈りながら迎えた今日でしたが、心はずませながら、学校へ行きました。

四年三組の理科の授業を参観させて載きました。ふとこの授業と僕の小学校時代とを比較して、今の子供達は非常に恵まれた環境で勉強出来る事をうらやましく思いました。そしてこの子が大きくなった時、その子はどんな環境で勉強するのだろうか、想像もつかない事だなあと思いました。



うなご家庭は、父母お二人で参観させて載けば、子供も喜ぶだろうとも思いました。

授業参観後富岡先生の講演会がありました。学校の生徒数と、授業参観された両親の人数から察して、講演会に出席された両親の人数が少ない事に気付き非常に残念に思いました。

たしか四年程前の両親学級の後で、今日と同じ富岡先生の講演を聞かせて載きましたが、その時の講演の内容は子供の育て方に対して、大変参考になりました。その時の講演の内容を今もおぼえていますし、その内容を参考にしています。僕の子供を育てて来た面が多くあります。

強するのだろうか、想像もつかない事だなあと思いました。

四年三組の生徒数四十二名に対して、両親の参観者は、二十数名の皆さんでした。参観されてない十数名の皆さんはどうされたのだろうか。余程都合が悪かったのだろうか。僕は昨年迄の三年間は、長女も当校にお世話になっていたので、授業の前半と後半にわけて参観させて載いたので、参観されてない中の多くの皆さんは、昨年の僕のように他の学級の参観をしてみえるのだろうかと思惟しました。そうだとすれば、来年からは、学校の先生に一工夫お願いしたいものだなあと思いました。又このよ

今日の富岡先生の講演内容も、これから子供を育てていくのに大変参考になりました。このようなチャンスはそうはないのだから、一人でも多くの皆さんが聞かれる事を希望したいものです。

他人の話聞く事は、自分と同じ考えの話なら自分の意を強くしますし、考えが違えば、尚聞く必要がありません。

もしも、来年の両親学級時に、講演会が実施されたならば、授業参観された全員の方が、ぜひ聞きたいものだと思います。

両親学級の雑談の中から

- A 毎年出席されていますかー  
子供が楽しみにしておりますので……。でも教科は、算数、国語がいいですね。
- B 授業は算数でしたが分数がよくわかるように、先生はゆっくりと説明してクラス全員が理解したら先へ進んでいただけ、こんな進み方で一年間で教科書を終えられるのかな……。
- C 最近の算数もしかたが変わっていたり漢字も書き順が変わってきて親の方も子供と一緒に勉強のやりなおしですね。
- D それは女房の仕事になりますね。
- E 図工等は子供達が生き生きとしてグループ勉強の入り口かもしれないけれど親達には興味がありませんね。
- F 社会見学とやら親の知らない所迄連れて行ってもらうっていい勉強してはいますか……。
- G 成績成績と競争するよりもクラス全体のまとまりのとれた行動は気持ちのいいものですね……。
- H 子供が多いと大変ですわ、あちこち飛びまわって結局わけわからずで終わってしまいます。
- I ふだんのありのまゝの様子をみたいと思っても、どうしても子供もお行儀よくなってしまうのではないかな。
- J 親の方もつい「今日はきちんとするのですよ」なんて子供にいったりする事もあるしね。
- K 自分の子がお行儀よく、発表など、はきはきできると、親はすっかり満足してしまうけれど、もう少し目をひらいて全体を見られるようになるといいんではないかな。

参観によせて

N・H

授業参観といいますが親は算数国語の授業を参観するものだと思います。それは授業がよくわかる？からなのでしょう。自分の子はできた、わかったとすぐ目にはいってきます。母親とはかく自分の子供単位にしか受けとめて

余暇を生かして

或る日友人に「テニスをやってみない？」と誘われました。美容と健康に最適よ」と言う言葉に、日頃健康にはまずまず自信のある私も、年がいかにも美容の二文字には弱し、即座に決心!! 白を基調とした清楚な

スポーツ編

テニスと私

尾崎 かつ美

体力作りがさげばれる 今日この頃、余暇をスポーツにあてている、PTAの方々にご体験をお話していただきました。

みなさまもこの機会にいかがですか。

フアッションに憧れました。そして今、真白いユニホームに身を包み、照りつける太陽の下で、一つのボールを追って思い切り駆け廻っております。自慢の足を惜しげもなく出し、スタイルだけは一人前のうちに、早や一年が過ぎようとしています。練習後の雑談、大勢の人との交流で勉強になる事は沢山あります。子供の事も離れた今、家庭の仕事に明け暮れる日々だけでなく、いつまでも、若さと、健康を保つにも、テニスを始めた事を心から喜んでおりま



す。と同時に、昨年より今日、今日より明日への上達を願って……。

### ボーリング

大宮町 村山 勉子

私がボーリングを始めたのは、六年前です。ブームも去り又二年前から婦人会の教室が始まって、週に一度、その日は朝から張り切って家事も手早く済まし、その時間だけは何事も忘れ思い切りプレーを楽しんでいます。

今迄知らなかった人とも親しくなり友人も出来、いろいろな会話を聞いたり話したり人生勉強にもなります。

今では主人も帰って来ると点を聞いたり協力的です。室内スポーツとしてはお腹もスマートになり最適です。皆様も一度いかがですか。

### スポーツを通じて

谷野 輝江

朝夕の冷込みに深まりゆく秋を感じます。まさに読書の秋、スポーツの秋でございます。このたびスポーツについてとお願いされ一筆書かせていただきます。私も二年程前四日市婦人卓球に入部いたしました。クラブ員も現在四十五名毎週火曜日を練習日といっています。ランニング、縄跳、屈

伸等々準備体操から始まり、週一回のみなさんの親がその時とはとても明るく生々としています。

幸い主人も学生時代よりしておりましたので時々教って家族で楽しんでおります。主人の話を聞きますと、このスポーツをやってきて本当によかったと言っています。

時々私が「カッパ」をいただいでいただきますと、お母さんは頑張ったのでいただけたのね」と子供なりに勇気づけてくれます。私もスポーツを通じて子供達にはやれば出来るのだという強い力と精神は持つて育ってほしいと願っています。

### 私の楽しみ

羽津中 萩 三津子

皆さん、こんにちは。菊の香りが、あたり一面に漂う季節となりました。今日は、余暇を活用しての週一回の楽しみを、紹介させて頂きます。

それは、羽津地区家庭婦人バレーボールです。初めてお聞きになった方もみえるでしょうが、去年結成されたホヤホヤのチームです。現在部員は十二名、二十一才から三十九才までの主婦の方で、中にはお子さんを連れて練習にみえる若いお母さんや、御主人と共にみえる方など、さまざまで和気あいあいと大変にぎやかです。

### 給食試食会

福祉保健部 母 親 部

十月二十七日一年生保護者を対象に実施いたしました。

先ず「学校給食を楽しく」「世界の子供」と言う二本の映画を見てその後三輪栄義士の話を聞かせて頂きました。

当日の献立はチーズパン、牛乳、サラダロール、出席者は百二十名で四教室に別れて行った。

試食後給食についてのアンケートをとった結果、毎日喜んで食べてくる子供が多くパンについては時々残さしてくる。給食だよりには新しい献立の紹介を望むと、言うのが多かった。

また給食全般の希望といたしましては、もう一品ふやし野菜を多くし果物を添えてはどうか、それに食器の工夫。ナプキンに変わる物を考えてほしい。試食会は今後も続けた方がいいという意見が多かった様です。

主催者といましては、この様なご父兄のご協力を得て有意義に終りましたが、時間の都合で栄義士さんとの懇談が出来なかったことを残念に思っております。



### 給食試食会に

参加して

上田 俊子

初めて、子供達が、毎日頂いております給食を試食する機会に恵まれ、喜んで参加させていただきました。と申しますのは、子供はいつも、おいしいと言っていて帰ってまいりますし、特に羽津小学校の給食は、四日市市内の他の学校に比べ、同じ物でも、おいしい味付けをされると聞きまして、試食させていただき、成程と思い、子供達を幸に思いました。が、毎日残してまいりますパンをみまして、低学年の子供には、少し大きすぎたのではないかと、できずれば、高学年、低学年用の二種類に分けて載ければ、それ程残さずにはすむのではないかと思いました。又、副食も、一品に、多くの量でしたが、もう一品ふやして、量を少なくしたり、食後の果物をつけて載けると申し分ないと思えました。それから、パン等入れる食器も、私達が子供の頃に使用していましたが、もう少し変わらさず味けないものでした。多くの教を処理していかねばならない学校給食では仕方ない事でしょうが、もう少し、可愛い感じの割れないお皿一枚で感じも変わるのではないかと思いましたがいかがでしょうか。

秋さわやかな十月二十二日午後一時PTA会長自ら会場の入口に立たれお客様を迎えられた。



開場と同時に広い講堂は人でうずまった。

諸先輩方の良きアドバイスや準備のお手伝いを頂き、また昨年同様六年生児童によるポスターの宣伝効果もありバザーならではお値うちな魅力がこなにも大きい

### バザー

溝口かつ枝

ものかと嬉れしく思いました。毎年ながらたくさんの方古製品、衣料、雑貨食品、果物から生魚にいたるまで数え切れない程の品々、これ正に会員はじめ地区業者のあたたかいご支援、ご協力と深く感謝致しております。

会場舞台上からマイクを手に品物の紹介をして下さる教頭先生の声の流れ、また勘定場では部員と先生が一緒に計算に追われている光景を見、私はこれが本場のPTAの姿だと胸に深く感じさせられました。おかげ様でたくさんの方品物も予定時間より早く売りつくすことが出来、七十二万五千円という高収益が得られたことに對し、役員・部員一同厚くお礼申し上げます。

この収益金は教育施設のため有効に役立てて頂きますのでどうかご理解下さい。

これからも活発なPTA活動が出来れば皆様の一層のご協力をお願い致します。

### 文化部活動

夏から秋にかけて文化部では、いろいろの行事を行いました。

七月二十六日 自然に親しむ会 藤原岳登山 参加八十九名

八月二十六日 陶芸教室 小学校講堂にて 参加親子五十名

九月十三日 工場見学 母親部と共催 参加五十五名

自然に親しむ会 参加して

一本 洋子

七月二十六日、夏休みに入っ間もなくのよく晴れた暑い日、教

人の先生と自然クラブ、PTAの父兄と子供を混えた一行八十九名は、富田駅より三岐鉄道で五十分西藤原駅に着いた。駅前ではこれらの予定と注意を聞いて、最初の

目的地自然科学館に向った。地元の人々の協力で開設されたこの館には、附近一帯の動・植・鉱物の標本、写真、模型が整然と並べられ、ちょっとしたミニ博物館である。鱒の養殖池を見ながら聖宝寺の庭を抜け鳴谷滝に出た。冷たい水を涼をとった後、三十分登山登りを味わった所で二手に別れ、滝まで戻って昼食後、帰宅したのが下山組。登山組は、大小二十一名。肩まで伸びたあざみや俄雨、つるつる滑るむし風呂のような山道に



「陶芸教室」に

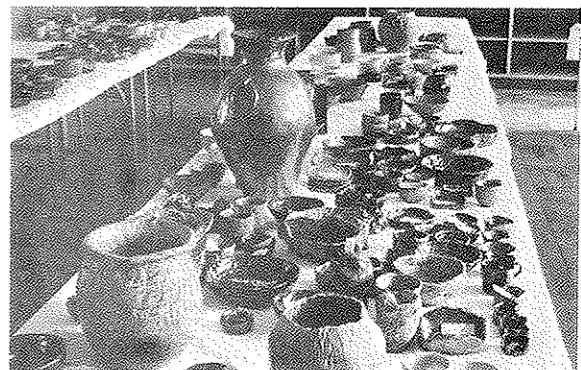
よせて

福地 洋子

夏休みも残り近くに、文化部主催の陶芸教室へ子供と共に参加させて頂きました。そして楽しみに待っておりました作品が、ようやく完成して、手許に届きました。拙い作品ですが、子供も私も、自分で陶器を作る事が出来た喜びでいっぱいでございます。

この春、初めて横浜より四日市へ引越して参り、羽津小学校へ入学させて頂きました。創立百年以上の長い歴史と伝統に感動し、陶芸設備が整えられているという事にも驚きを覚えました。それ以来是非共陶芸教室へ参加させて頂きたいとひそかに願っておりました。丁度夏休み中でしたので親子で出席された方が多く、私も久しぶりに童心にかえり、灰色の粘土をのびしたり、まるめたりして楽しい一日を過ごさせて頂きました。

四日市には数多くの陶芸家がおられて、特に羽津小学校附近の盛んな万古焼の様子を、いつの日か横浜の家へ戻れる時がありました。なら、誇りをもって、お話ししたい気持ちでいっぱいでございます。そしてこれからも陶芸教室への参加を楽しみに待っております。



工場見学を終えて

藤井 郁子

九月十三日、懸念された台風もどこへやら、絶好の秋晴れの下、皆様の絶大なるご協力を得まして満席のバスは、アサヒビール工場、美濃紙試験場へと賑やかに出発致しました。

アサヒビール工場では相にく、定期点検のため一日停止の日にあたり、作業工程はサイダーのみの見学でした。

でも、ホップの栽培から始まって発酵、ろ過、ビン詰め、出荷に至る迄を、スライドで詳しく説明されました。

ビン詰めに至っては、何と、一台で一分間に一千本、一時間に六万本と言うすばらしいスピードで作動する機械には、ただびっくりするばかりでした。何はともあれさすが天下のアサヒビールと口々にほめながら、出来たてのビールをいただいで、楽しい昼食をすませ、次の見学地へ向かいました。

美濃へ着く頃には小雨がパラついて居ましたが丁度ほこり押さえになりあたりの緑がいかにも彩かでした。試験場では三十分の予定のところ、案内の方が話上手と言いますか、話好きと言いますか、前置きの説明だけで三十分が過ぎ、昔ながらの紙すき作業等、工程の見学に三十分余り、帰宅時間を気にしながら急ぎ帰路に着いた次第です。

帰りの車中では、会長さん始め少数の紳士方はや、圧倒され気味でしたが、環境部長さんのユーモアのある司会で歌合戦等、大変楽しい和やかな内に見学旅行の一日を終えさせて頂きました。

# 声の広場

## 子どもに心の栄養を

文化部 M・O

本屋の店頭に行くと、うら若いおかあさんが幼児を連れて講談社の百円絵本を買っているのを見た。またある時、中学生の女の子がマーガレットの部厚い雑誌を立ち読みしていた。また高校生だろうか、学生服の男性群がマンガの本をのぞきこんでいた。

読書という行為は、あくまでも個人的なものであり、自由な世界であるから、とやかくいうものではないかも知れないが、私は母親である立場から、子どもの精神生活には重きをおきたい。その基盤をなすものがその子の読書の歴史だと思っている。

幼ない子をつれた母親が俗悪な絵本を子どものせがむままに無難作に与えているのを見ると心が傷む。子どもの体の成長には若いママ達は心を配る。少しの不調におろおろする。深夜に開業医の医院のベルを押す。それと同じように心の成長にも配慮があれば、子どもの本にもっと関心を持つのではないか。

心して新聞を見ると、子どもの本の紹介は、どんな新聞の片隅にも見出せる。そして現代は児童文学の花ざかり時代である。巖谷小波の時代から小川未明、浜田広介、坪田譲治とくだり、今や児童文学者はゴマンとある。日本の国の作家群は言うに及ばず、翻訳も進んで老舗のイギリスのみならず各国の児童文学書が氾濫している時代である。

近頃の世相は、受験戦争のため教育が歪められていて「教育のことは学校にお願いします」といかなくなってきている。小学校へ入るとやれ勉強、やれ学習塾へとさわぎたてるかわりに、母親たるもの、「幼ない頃から読書生活を豊かに」と私は叫びたい。

そのためには「子どもの本」の勉強をしなければならぬ。全集ものを本棚せましとくらびやかに並べて、これでよしとするのではなく、子どもの心の栄養になる本は先づ、その子が読んでおもしろいものでなければならぬ。そば

でいっしょに読んでやる。子どもの心の動きをとらえながら、母親も子どもの本を読み味わってみることだ。それと同時に、石井桃子の「子どもの図書館」と、子どもと文学や、今江祥智の「子どもの時間、おとなの時間」などを読んでみる。児童文学者が児童文学に關して書いた随筆や論文を読みながら、同じ作者の作品を並行して読んでみる。そんな勉強に關心を持って、いつか児童文学の何たるかがわかってくると思う。

松岡享子が言っていた。「子ども達はもうそこまで来ています。戸のそばに立って扉が開かれるのを待っています。」どの子どもの子もお話は好きなのだ。母親の肉声で読んでもらう本が良書であれば、子どもの芽はすくすく育つ。できるだけ幼ない頃から心の成長に留意する母でありたいと私は思っている。

### 夏休みの

校庭清掃に思う

N・K

毎年あたり前のように行なわれる父母による校庭清掃をいつも疑問に思うのは私一人でしょうか。今の子供達にとって自分達の校庭の草をとったり、遊具のペンキ



をぬり直す事は、そんな大変なむつかしい事でしょうか。子供の手におえない事や、危険な場所は、なれない大人がやっても危険です。し専門家にまかせる位の費用は、何とかならないかとも思うのです。

子供に働く楽しさを感じさせる配慮をもって学校の廻り位は自分達の手できれいにする教育を望みます。



グリーンスクール

六年一組 山本純子  
わたしたち六年生は、九月五日月曜日から、九月七日水曜日まで二泊三日で、四日市市青少年野外活動センターへいきました。

野外活動センターへついたとたんに、とてもいいかおりがしてきてた。こんな、いいけしき、そしていいかんきょうの所でとまったり、勉強をしたりして、わたしたちは、しあわせだと思った。

そして、とうとうまちにまった夕食の時間がきた。みんないっせいに、「いただきます」をいって食べた。その時の夕食は、とてもおいしかった。

夕食は、三十分でたべなければならなかったの、いそいでたべて、やっとたべられたと思ったら、三十分ちょうどにおわった。

お風呂にはいった。みんな、いっしょにはいったお風呂は、家で一人はいる時よりも、何倍もおもしろかった。お風呂の中で、およいでいる人もいた。

わたしは、整美係なので、お風呂の中のバケツやいすをならべたり、ぞうきんで、タイルをふいたりして、人よりも少しおくれた。そして、いそいで、自分のとまる部屋へもどり、キャンプファイヤルを外でした。

した所は、活動センターの建物から、少しはなれた広場のような所でした。みんなこわがり、わいわいがやがやとさわざ、なくような声をたてている子もいた。

やっと、キャンプファイヤルがおわり、部屋へもどって、ふとんをひいてねたが、みんながさわいでいるのと、あついでなかなかなねむれなかった。そして朝方ねて、六時ごろおきた。みんな、ねむそらな顔をしていた。

ラジオ体操をして、また、ゲームをした。とてもおもしろく、ゲームがおわると、スケッチをしにいった。その時も、スケッチをあまりせず、あそびほうだいあそんだ。

帰ってお風呂へはいり、夕食をすましてねたが、またもやねむれなかったの、本をよんでいたらやっとなつて、朝六時ごろ目がさめた。あと一日かと思うとなんだかさびしくなつたけど、しかたがなかった。

三日目もゲームをしたりしていた。でも、あまりおもしろくなく家に帰りたくなつてきた。みんな、家がいそいといつていた。なにをやっても、おもしろくなかつたが、やはり、最後の日となると、みんな、走り回っていた。「もう少ししたい。」と思うと、早く時間がすぎ、「やっぱり帰り

たい。」と思うと、時間がとても長かんじたが、三日目の日などは、早く時間がすぎ、もう少したかつたと思つた。とても楽しい三日間だった。

グリーンスクール

六年二組 寺本陽子  
九月五日私たちは、青少年野外活動センターでグリーンスクールを行なった。

まちにまったグリーンスクール、クラスメートたちといっしょに、三日間をすごす。

私は、このセンターへは二・三度来たことがある。

その時も、とても楽しかつた。ところで、このセンターは、緑につつまれとても美しい所だ。この美しい緑の中で二泊三日、なんだか私はうきうきしてくるのだった。

センターにつくと、すぐハイキングに出発。目的地は、紅葉谷だ。とてもきれいな所だった。その夜は落ちつかなくて、ねむれなかつた。九月六日……朝、雨がふつていた。私たちは、少しうれしくなつた。雨がふつていたので、野外活動には、いけないと思つたのだった。ところがなんと、雨がやんでし

まったので、スケッチに出発。「アアやだなあ。」てなことをいながら、出かけた。

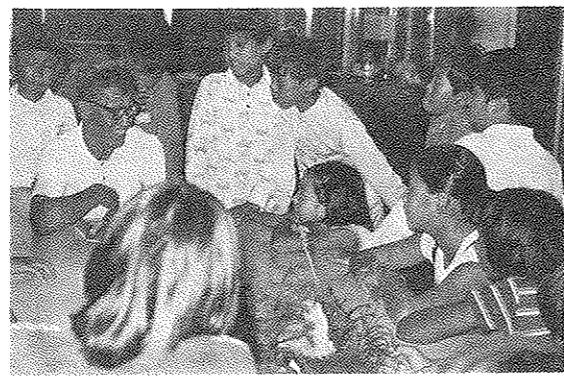
だけど目的地の神社は、それほど、遠くなかつた。

その日の夕がた、部屋に入るとベランダで、みんながさわいでたんです。それで私もそばへ行つて、「どうしたの。」ときくと、「下にへびがいるの。」と教えてくれた。だから私もベランダから下を見ると、細くて長いへびがニョロリ、夜。リタリエーションがあつた。

その時、男の子たちがこわい話をした。とってもスリルがあつてこわかつた。女の子の中には泣いてる子もいた。夜はとってもよくねむれた。

グリーンスクール

六年三組 内田祐子  
私達は、二泊三日の予定でグリーンスクールへ向かいました。四十分ぐらいバスに乗り、二十分ぐらい歩いて、やっと目的のグリーンスクールの建物を見ることができました。これからどういことが起きる



のだらうという期待と、ちゃんと共同生活ができるのだらうかという不安とが胸いっぱいになり、こめました。

グリーンスクールにつくとすぐに、一日目の予定の紅葉谷へ行きました。新せんな空気の中で食べたおべんとうはとてもおいしく感じられました。

夜にはキャンプファイヤーでいろいろな歌を歌ったり、盆おどりをしたりしました。

キャンプファイヤーが終わってから、緑の学校へ帰りベットに横たわりましたが、全々ねむれず三時ごろにやっとなつて、こめました。

二日目には野外活動にでかけました。たくさん歩いて、神社にきました。初めは、展望台へ行く予定だったので、一日目に展望台を通つたし、百人近くの生徒が、スケッチできるだけの場所がないというところで神社に変えたのだそうです。

二日目の夜はリクレーション大会をしました。一組は組全体での歌、二組はクイズとかい談、三組、私達は、歌を歌いました。

私は三人で「ふるさと」を歌いました。はずかしいような楽しいような気持ちでした。

二日目の夜はつかれていたのでぐっすりねむることができました。三日目、いよいよ最終日になりました。

私達は今、講議室でこの作文を書いています。

もうあと教時間でグリーンスクールと別れなくてははいけないと思ふとなんだかさみしくなります。たつた三日間でしたが、こんな緑にかこまれて勉強できたことをうれしく思います。

最後の小学校生活の思い出として、かけがえのない大切なものになるでしょう。

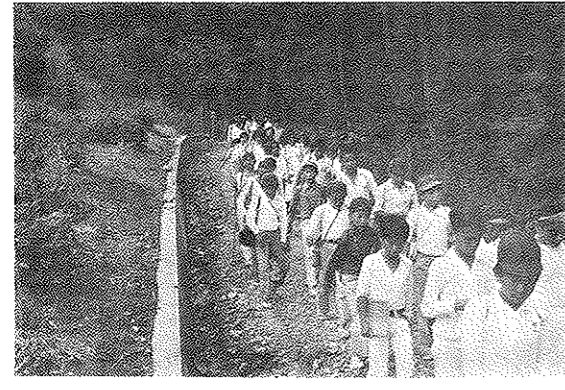


グリーンスクール

六年四組 宮崎弘子  
私達 二班は、九月の七日からグリーンスクールに、出かけました。

七日の日は、雨がふりかけていましたが、野外活動ができ、もみじ谷へ行きました。そこへ行くまでの山道は、登り坂や、下り坂、でこぼこしているところが、たくさんあって、とってもえらかつたです。もみじ谷は、周りが緑りにかこまれていてとても美しいところでした。

野外活動センターにもどると、大広間で入所式をやり、講議室で



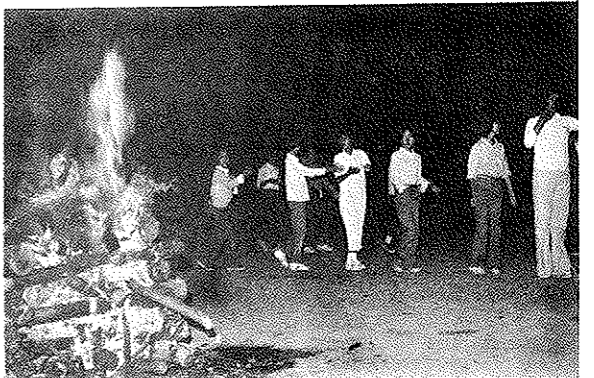


オリエンテーションをしました。自由時間は、酒井さんとバトミントンをして遊びました。それから、夕べのつどい・食事・入浴をすませました。

そのあと、リクレーシヨン大会がありました。リクレーシヨン大会では、「クイズ」をしたり、「字ぬき歌」を歌ったりして楽しく遊びました。それから、自由時間・ねる準備をしました。私達のグループは消燈後も、ねむれなく、さわいでいたので先生に注意されました。

八日の日は朝六時に起き、朝のつどい・そうじ・食事をすませました。八日の日は雨がふっていて野外活動ができなかったので、講義室で図画のクロッキーをしました。一本の線でそのものの感じをつかんで書くのは、図画の苦手な私にとって、とてもむずかしかったです。その後、昼食をすませてから「森林の生物」・「ロビンソンの漂流記」・「海のあした」という映画を見ました。

それから自由時間があり、入浴、食事をすませました。その後、大広間でキャンプファイヤーをしました。ここでは、各組が練習していたことをしました。室内のキャンプファイヤーだったけれど、とても楽しかったです。夜は、前の日にさわいでいて



ねむれなかったためか、消燈になると、すぐ寝てしまいました。九日の日は、朝から雨がふっていました。朝のつどいと、食事をすませると、荷物の整理です。私達は、昼食をすませると、大広間で退所式をして、青少年野外活動センターを出発しました。

八日の日は、雨で野外活動に行けなかったけれど、この、二泊三日のグリーンスクールは、とても楽しくすごせました。

グリーンスクール

六年五組 津田栄美

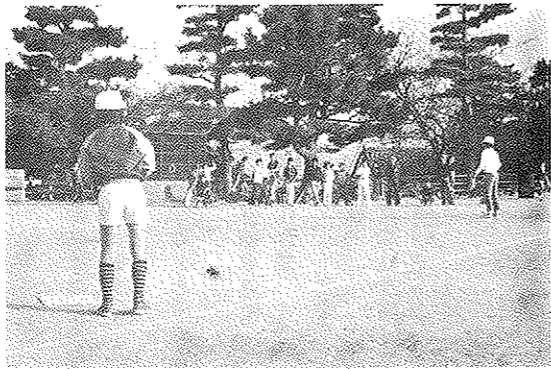
九月七日から九日までの、二泊三日、待ちに待った楽しいグリーン

クラブだより

(中)

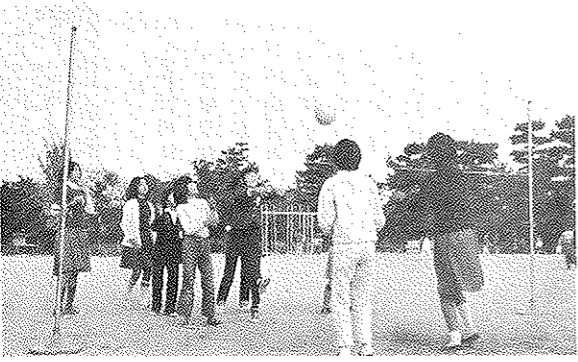
バレーボールクラブ

六年十一名、五年五名。全員女子ばかりですが、元気のよいことは男子に負けない位です。欠席する子もありません。コートもネットもありませんがみんな楽しく、未来のワールド・カップ出場の選手を夢みて張り切っています。



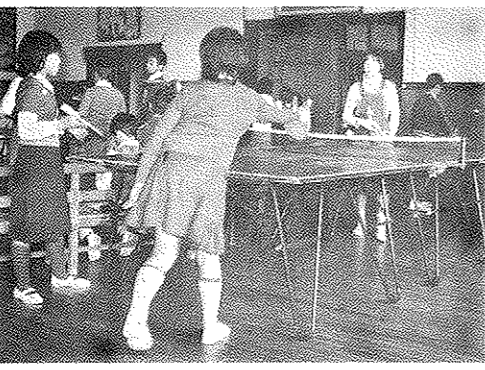
ソフトボールクラブ

ソフトボールは、子ども達に人気があり、入部希望者はたくさんあったが、施設等の都合で、五年十五名、六年十五名、計三十名でクラブ活動をしている。三十名をA・B・Cの三チームに分けて、チーム・ワークを大切に、楽しく運動をしています。



卓球クラブ

当初、希望者の殺到した卓球クラブですが、台が、三台しかないため、四十八名にしぼりました。一台に、十六名づつ、三つの班に分かれて、練習しています。一学期間は、基本的な、うち方サーブの仕方など、ひととおり練習したあと、二学期は、二人づつ



の打ち合いや、かんたんな、勝ちぬき戦なども、やっています。一学期のはじめは、打っても打っても、相手のコートに入らなかつた人も、ずい分、うまく打ち返せるようになりました。台が、もう一、二台あったらなあ、考えています。

ームのふうせんわりをして、じゅ命がちぢまったように思われた。そして夜、なかなかねむれないので、みんなでしゃべっていたら先生にしかられたので、目をとじていたらいつの間にか眠っていた。

二日目の日は、朝から雨がふっていた。夜のキャンプファイヤーのときには、やんでほしいと思つた。もちろん予定の展望公園でのスケッチは中止だ。でも小林先生に、クロッキーを覚えていたいたりえい画を見たりしたので、けっこう楽しくすごせた。そして、キャンプファイヤーの時間になつた。残念なことに雨はやんでくれず、大広間でミニキャンプファイヤーをする事になった。電気を消し、みんなが歌ったり、おどったりして楽しんだが、やっぱり外のキャンプファイヤーの楽しさには勝てないだろうと思つた。雨にたたられたこのグリーンスクールも、今日は家に帰らなければならぬ。キャンプファイヤーができなかったことは、つくづく残念だ。



市林副会長の逝去を悼む



今年六月十二日の環境整備部奉仕作業の前日十一日に、仕事のだんどうをさせていただき、作業当日は作業開始前にもう一度打合せをしようということでお別れをしたところ当日朝、発熱のため出られないというご連絡をいただきましたが、それ以来遂にお元氣な姿に接することもなく、年にわたる闘病生活の甲斐もなく、十二月九日夜、この世を去られ悲しみにたえません。

思えばPTA本部役員として特に学校環境の整備については、一方ならぬご尽力をされ、PTAとしても惜しい方を失い、誠に残念なことでもあります。働り盛りのしかも一家の大黒柱を失われたご家族の悲しみもまた一入とお察し申しあげます。

ここにPTA、学校関係者一同、深く哀悼の意を表するとともに、故市林肇副会長のご冥福をお祈り致す次第であります。

.....

# 常任委員会たより

常任委員会は、しでがの五十九号発行以後四回にわたって開催されておりますので次のように報告いたします。

## 第四回常任委員会（七月四日）

- 1. 会長あいさつ
- 2. 学校長あいさつ

### 3. 報告

第三回常任委員会以降の各部署等の経過について報告

### 4. 議事

- (1) 七月・八月の行事とその実施について
- ・ 交通教室・自転車点検
- ・ 環境整備奉仕作業
- ・ 救急法講習
- ・ 家庭教育学級
- ・ 九月の工場見学計画

- (2) プール当番について
- (3) その他

## 第五回常任委員会（九月十四日）

- 1. 会長あいさつ
- 2. 学校長あいさつ

### 3. 報告

第四回常任委員会以降諸行事・事項について報告

### 4. 議事

## (1) 九月行事について

- ・ 工場見学（母親部）
- ・ しでがの編集会議
- (2) 二学期行事について
- ・ 両親学級（十月）
- ・ しでがの（六〇号）発行（十二月）

## (2) 十月行事について

- ・ 給食試食会（十月）
- ・ バザー（十一月）
- ・ 料理教室（十二月）
- ・ 街頭補導（十二月）
- (3) 学校行事報告
- ・ 運動会（九・二五）他
- (4) その他

## 第六回常任委員会（十月六日）

- 1. 会長あいさつ
- 2. 学校長あいさつ

### 3. 報告

第五回常任委員会以降諸事項について

### 4. 議事

- (1) 十月行事について
- ・ バザーについて
- 十一月実施予定を十月二十二日（土）にくりあげる
- ・ 給食試食会について
- (2) 両親学級について
- 十月実施予定を十一月十三日

- (日) に延期する。
- (3) 市P大会について
- (4) 学校行事報告
- (5) その他

## 第七回常任委員会（十一月四日）

- 1. 会長あいさつ
- 2. 学校長あいさつ

### 3. 報告

第六回常任委員会以降の経過について

### 4. 議事

- (1) 十一月行事とその実施について
- ・ 両親学級について
- ・ その他
- (2) バザーの事後処理について
- (3) 給食試食会の反省
- (4) 学校行事報告
- (5) その他



で	す	く
お	い	ど

◎今年の秋は記録的なお天候続きで、衣替えと、御歳暮が一緒にやってまいりました。

◎野菜もくだものも豊作で、食卓をにぎわしています。

◎今年は、陶芸教室の作品も完成し、わが家の宝も一つ増えました。

◎NHKの「お母さんの勉強室」のテレビ番組、見ておられますか？とても勉強になりますよ！時間を作って一度見て下さい。

◎学校・PTAのかずかずの行事が、会員の皆さまのご協力のおかげで成功に終わったことをうれしく思います。

◎目にみえるもの、物質的豊かさに心うばわれがちになる昨今、私たちの価値観を、問い直してみることが必要なのではないでしょうか。

◎次号は、余暇を生かして趣味（スポーツ以外）を楽しんでみえる方のお話を特集します。

◎投稿をお待ちしています。

◎あわただしく時がすぎてゆきま

す。一日一日を大切に、良いお年を迎えられますように！